

集合管閉塞キット IRXP

技 術 資 料

2019年 7月 12日

因幡電機産業株式会社
開発統括部

1. はじめに

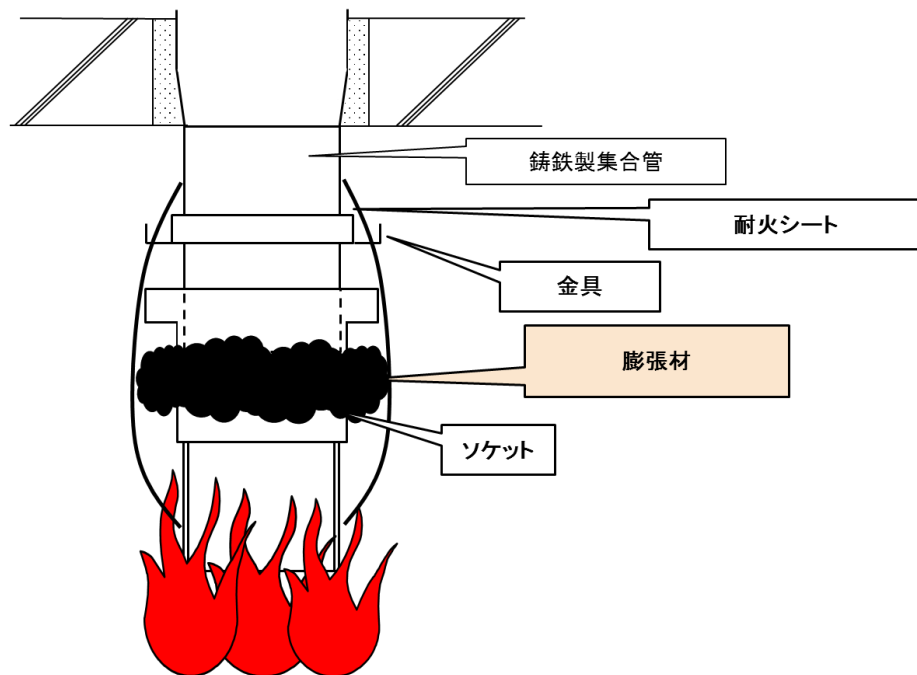
集合管閉塞キット IRXP は、共住区画貫通配管等からの延焼防止を目的として開発したもので、国土交通大臣認定：PS060FL-0840（床・鋳鉄製集合管[モルタル埋め戻し]）、（一財）日本消防設備安全センター認定：KK28-007号（床）（共住）を取得しています。

※上記 認定・評定につきましては、別売の弊社製品「耐火遮音カバー（IRLP）」と組み合わせて使用する場合に限ります。

詳細につきましては、国土交通大臣認定書、（一財）日本消防設備安全センター評定書にてご確認ください。

2. 機能

火災が発生した場合、熱によりソケットに組み込まれている膨張材が膨らみ集合管の下部を閉塞させます。



閉塞前



閉塞後

3. 適合排水集合管

集合管閉塞キットの適合排水集合管を以下に示します。

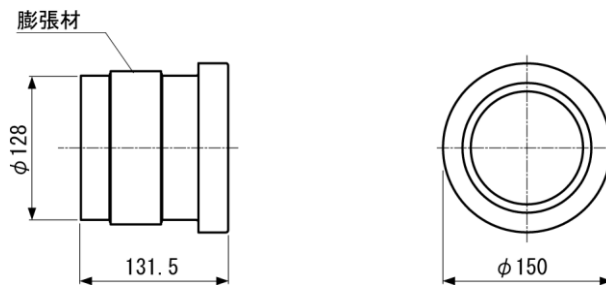
会社名	適合排水集合管
積水化学工業株式会社	AD スリム継手（差し口）100A
株式会社クボタケミックス	4SL（片受け）
株式会社小島製作所	CP シリーズ（ストレート型）100A

詳細に関しましては、国土交通大臣認定書、（一財）日本消防設備安全センター認定書にてご確認ください。

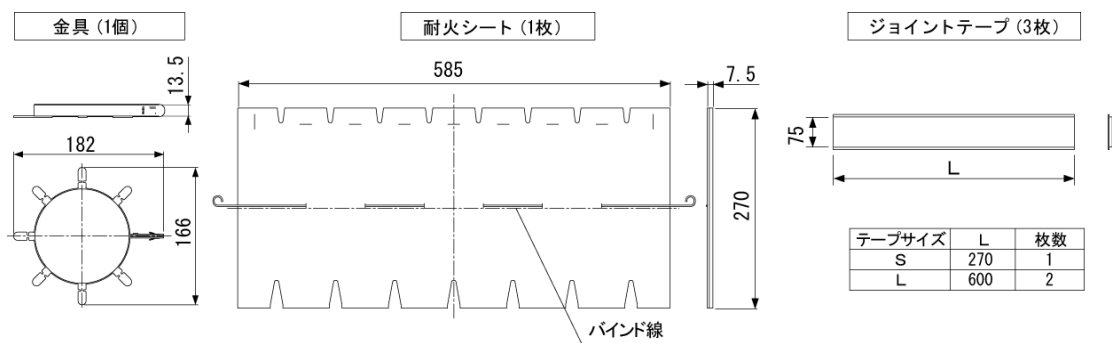
4. 製品仕様

集合管閉塞キット内容を以下に示します。

1) 膨張材付伸縮両受ソケット IRXP-SK-A



2) 金具付耐火シート IRXP-SK-B



※ 排水用集合管・集合管支持金具は、別途ご用意ください。

5. 耐火性

集合管閉塞キット (IRXP-SK) は、耐火遮音カバー (IRLP) を被せた管路材との併用により、建築基準法で定められる防火区画及び消防法で定められる共住区画貫通が可能です。

国土交通大臣認定(以下、認定と言う)番号及び(財)日本消防設備安全センター評定(以下、評定と言う)番号並びに貫通可能配管種・サイズを下表に示します。

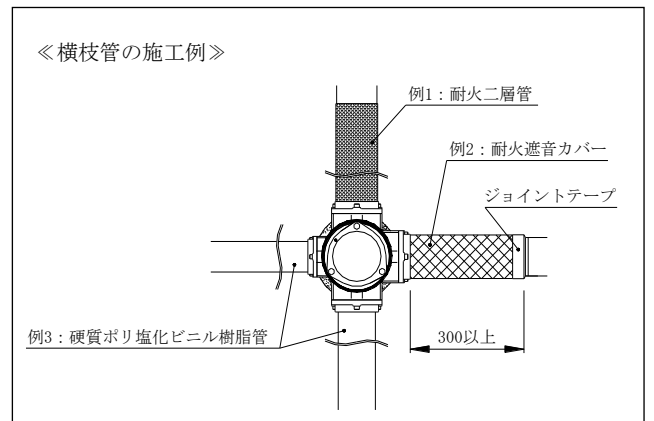
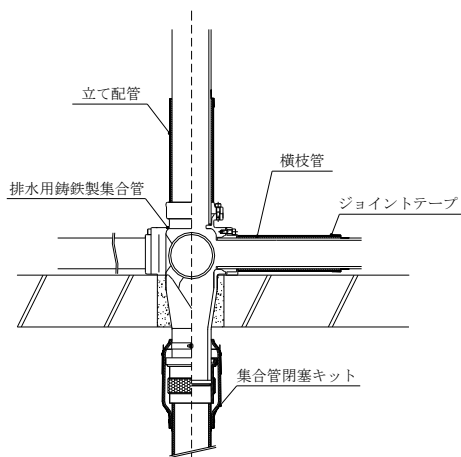
<認定・評定番号一覧表>

貫通種別	取得規格	認定・評定番号	区画		最大開口サイズ	埋戻し	最大占積率	配管種類(最大サイズ)						被覆長さ
			種類	最小厚さ				立て配管			横枝管			
								種類	被覆材	サイズ	種類	被覆材	サイズ	
集合管接続貫通	国交省認定	PS060FL-0840 (床)	ALC コンクリート	150mm	φ210mm	モルタル	52.4%	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	配管への被覆: 集合管から300mm以上
								VP管 (JISK6741)			VP管 (JISK6741)	なし	100A	
					耐火二層管(内管VP)	なし	100A							
		PS060FL-0854 (床)	ALC コンクリート	150mm	φ210mm	モルタル + ヒートメル サイレンス	52.4%	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	
								VP管 (JISK6741)			VP管 (JISK6741)	なし	100A	
					耐火二層管(内管VP)	なし	100A							
		PS060FL-0895 (床)	ALC コンクリート	100mm	φ210mm	モルタル + シンドカット	52.4%	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	
								VP管 (JISK6741)			VP管 (JISK6741)	なし	100A	
				耐火二層管(内管VP)	なし	100A								
	PS060FL-0957 (床)	ALC コンクリート	100mm	φ210mm	モルタル + 積水化学工業 製防振材	52.4%	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A		
							VP管 (JISK6741)			VP管 (JISK6741)	なし	100A		
				耐火二層管(内管VP)	なし	100A								
消防評定		KK28-007号 (床)	ALC コンクリート	150mm	φ210mm	モルタル	52.4%	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	配管への被覆: 集合管から300mm以上
								VP管 (JISK6741)			VP管 (JISK6741)	なし	100A	
					耐火二層管(内管VP)	なし	100A							
		KK28-008号 (床)	ALC コンクリート	150mm	φ210mm	モルタル + ヒートメル サイレンス	52.4%	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	
VP管 (JISK6741)									VP管 (JISK6741)	なし	100A			
			耐火二層管(内管VP)	なし	100A									
KK29-006号 (床)	ALC コンクリート	100mm	φ210mm	モルタル + シンドカット	52.4%	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A			
						VP管 (JISK6741)			VP管 (JISK6741)	なし	100A			
			耐火二層管(内管VP)	なし	100A									
KK30-002号 (床)	ALC コンクリート	100mm	φ210mm	モルタル + 積水化学工業 製防振材	52.4%	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A	VP管 (JISK6741)	IRLP	100A			
						VP管 (JISK6741)			VP管 (JISK6741)	なし	100A			
			耐火二層管(内管VP)	なし	100A									

注意) 施工方法については、各認定書並びに評定書をご熟読の上、施工していただきますようお願いいたします。

標準施工図

- <床貫通>
- ・集合管貫通

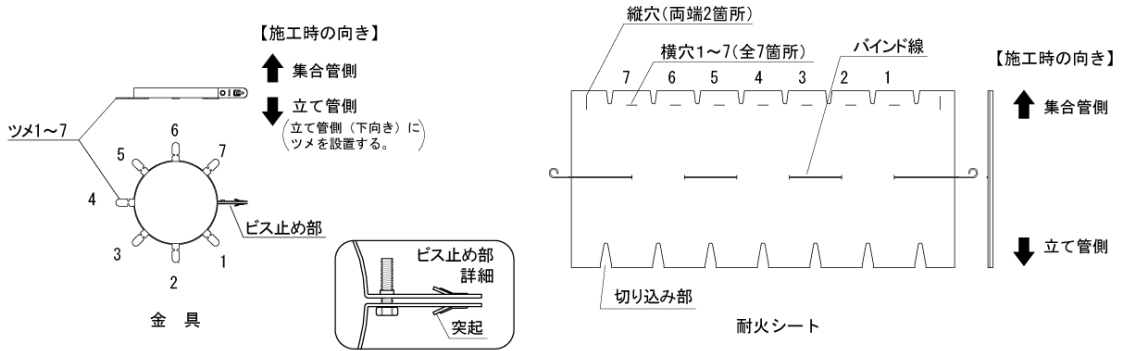


6. 施工手順

[施工具]

ドライバー (No.2) もしくは M5 用のめがねレンチかスパナ (呼びサイズ: 8)、ウェスなどをご用意ください。

[各部名称]



- (1) 膨張材付伸縮両受ソケットを立て管、集合管に接続させてください。
(集合管の挿入シロ 65mm)
(図-1 参照)

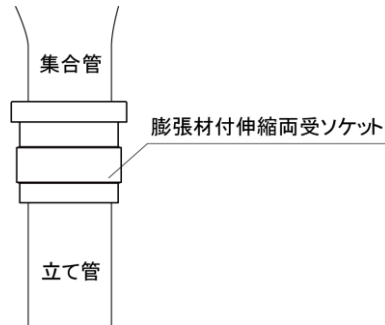


図-1

- (2) 耐火シートの横穴に、金具のツメを差し込んで、耐火シートが脱落しないようにツメを上向きに折り曲げて固定します。横穴・ツメ1~7まで順番に繰り返します。(図-2 ~図-4 参照)

- ※ 金具はツメが立て管側(下向き)になるように設置してください。
※ 何度も折り曲げると、材質上金具が破損しますので、ご注意ください。

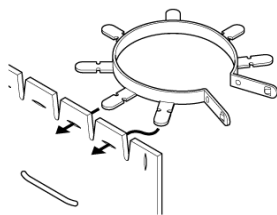


図-2

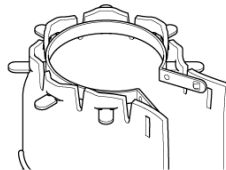


図-3

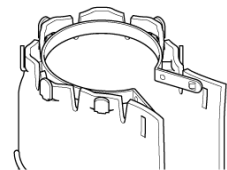


図-4

- (3) 耐火シートを取付けた金具を、集合管の直線部にはめてしっかりと固定させ、ビス止め部にビスで一箇所固定します。(図-5 参照)
その後耐火シートの縦穴 2箇所を、交互に金具のビス止め部に差し込みます。(図-6 ~ 図-7 参照)

- ※ 耐火シートが脱落しないように、ビス止め部の突起より内側にシートを押し込んでください。
- ※ 何度もビスで締め直すと、材質上金具が変形し固定ができなくなります。
- ※ 耐火シートの縦穴に突起を何度も貫通させると、シートが破損する恐れがあります。
- ※ 金具は、塩ビ管の伸縮量を考慮し直線部に固定してください。

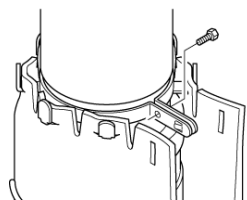


図-5

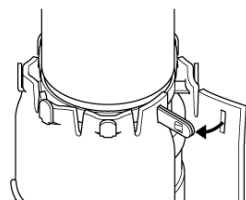


図-6

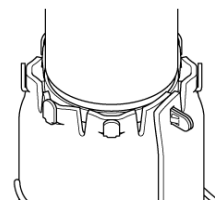


図-7

- (4) 耐火シート中央のバインド線に引っ張り、絡めて留めます。(図-8 ~ 図-9 参照)

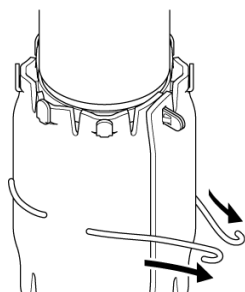


図-8

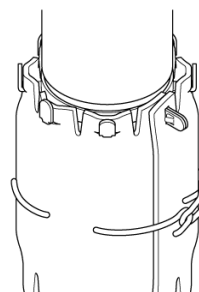


図-9

- (5) 耐火シートの合わせ面に同梱のジョイントテープ (S サイズ) を伸ばしながら貼り付けてください。(図-10 参照)
次に金具のビス止め部の下に同梱のジョイントテープ (L サイズ) を一周以上巻き付けてください。(図-11 参照)
耐火シートと立て管との継ぎ目に、同梱のジョイントテープ (L サイズ) を一周以上巻き付けてください。(図-12 参照)

- ※ バインド線の留め付け部が、ジョイントテープの下にならないように位置を調整してください。
- ※ ジョイントテープは1周以上巻き、必ずオーバーラップさせてください。
- ※ 付属のジョイントテープは幅や長さをカットしないでください。
- ※ ジョイントテープを巻き付ける際は、耐火シート表面やテープ自体の汚れやほこりをウエスなどでよく取り除いてから巻き付けて下さい。テープがはがれる原因となります。
- ※ 一度使用したテープは、再利用できませんのでご注意ください。
別売のジョイントテープをご使用ください。

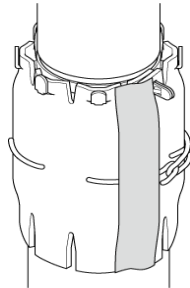


図-10

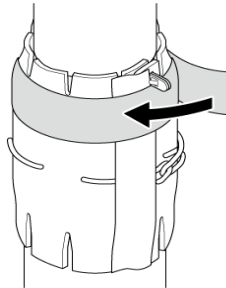


図-11

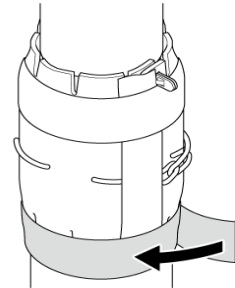


図-12

7. 注意事項

- ・作業時には、作業手袋・マスクなどを着用してください。
- ・本製品には耐候性はございません。保管・施工の際には直射日光や風雨がかからないように措置を施してください。
- ・国土交通大臣認定書・(一財)日本消防設備安全センター認定書をご熟読の上、施工してください。